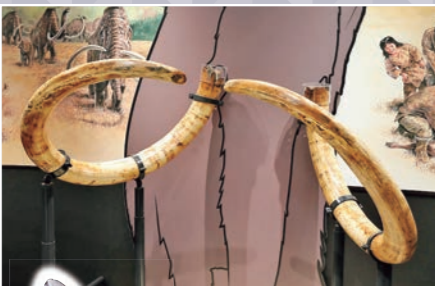




↑黒曜石を使った石器づくり体験も楽しめる



↑旧石器時代のくらしの展示室ではマンモスの牙が見られる

遠軽町埋蔵文化財センター

☎0158-48-2213 MAP P3

遠軽町の遺跡より出土した埋蔵文化財を収蔵・展示・活用を行なっている。工房では黒曜石を使った石器づくり(410円)や、土器づくり(630円)などの工作体験ができる。

③遠軽町白滝138-1(白滝総合支所2階) JR白滝駅から徒歩15分 ④入館320円 ⑤9~17時 ⑥無休(11~4月は土・日曜、祝日) ⑦80台

こくようせき 黒曜石って?

火山の噴火で誕生した「天然のガラス」。旧石器時代には石器の材料として使われた。遠軽町白滝は黒曜石の国内最大級の産地として知られる。



古代ロマンあふれる 体験メニューも豊富



↑白滝での石器作りを紹介する展示コーナーもある

↑メインの展示室「黒曜石ギャラリー」には白滝遺跡群出土品が並ぶ

丸瀬布昆虫生態館

☎0158-47-3927 MAP P2

蝶やカブトムシ、クワガタなどを生きたまま展示する虫の博物館。「チョウの広場」では温室内を南国の蝶が飛び交い、「世界の昆虫たち」では希少なカブトムシやクワガタが見られる。

③遠軽町丸瀬布上武利68 JR丸瀬布駅から車で15分 ④入館420円 ⑤9~17時(冬期は10~16時) ⑥火曜(GW、夏休みは無休)、12月31日~1月5日 ⑦200台

生きた昆虫を 間近で観察できる



↑沖縄に生息するオオゴマダラ

↑1500点以上が展示されている標本コーナー

森林鉄道蒸気機関車雨宮21号

☎0158-47-2211(丸瀬布総合支所) MAP P2

昭和3年(1928)~昭和33年(1958)の間、木材の運搬や住民の足として活躍した蒸気機関車。現在は丸瀬布森林公園いこいの森園内に設けられた2kmの軌道を走り、国内唯一の動く森林鉄道蒸気機関車として保存されている。

③遠軽町丸瀬布上武利80 JR丸瀬布駅から車で15分 ④乗車800円 ⑤始発10時~16時30分 ⑥10月下旬~4月中旬 ⑦200台



↑丸瀬布で愛された歴史ある森林鉄道

国内唯一の動く森林鉄道 煙を上げて運行する

↑新緑の木々の中、煙を上げて走り抜ける

遠軽町の推しカラー

黒に注目!

太古から黒曜石の産地として知られる遠軽町には、町の歴史や自然、黒曜石と人々の暮らしを伝えるみどころが点在。黒曜石を思わせる町の名物グルメもご紹介。

太古のロマンあふれる ジオサイトを訪ねる ジオツアー

☎0158-48-2020(白滝ジオパーク推進協議会) 白滝ジオパークでは夏から秋には黒曜石産地の散策ツアーを開催し、ガイドの案内で地球の神秘を体験できる。開催日程や料金は事前に問い合わせ。

③遠軽町町内 ④所要問合せ



↑黒曜石から大地と人のつながりを体験できる ①ツアーでしか立ち入れない場所で黒曜石を観察しよう

白滝ジオパーク

☎0158-48-2020(白滝ジオパーク推進協議会) MAP P3

遠軽町は2010年に「白滝ジオパーク」として認定された町。白滝ジオパークには日本最大級の黒曜石産地をはじめ、アイヌ文化と関わりのある「瞰望岩(インカルジ)」(→P6)など、地球と人とのつながりを楽しむ学べるスポットが点在します。

③遠軽町町内



↑白滝黒曜石産地は日本最大級の黒曜石の原産地



↑コケモモなどが自生する武利風穴

地球と人との関わりを 楽しく学べる自然公園

↑流紋岩質溶結凝灰岩の岩壁を流れる丸瀬布の山彦の滝



↑天狗平展望地(→P6)からは雄大な景色が眺望できる

白滝ジオパーク交流センター

☎0158-48-2020(白滝ジオパーク推進協議会) MAP P3

遠軽町は日本最大級の黒曜石の産地。この黒曜石をつくりだした火山活動と黒曜石誕生の物語を、映像やジオラマで紹介している。

③遠軽町白滝138-1(白滝総合支所内) JR白滝駅から徒歩15分 ④入館無料 ⑤9~17時 ⑥無休(11~4月は土・日曜、祝日) ⑦80台



↑白滝総合支所の1階にあるセンター



↑岩石やイラストで大地の歴史を分かりやすく解説

↑黒曜石誕生の物語をジオラマや映像で紹介している

おすすめの黒グルメ

ビターブレンド 100g720円
自家焙煎した村上珈琲店の深煎りコーヒーはドリップバッグで 木楽館 MAP P3

くろッقه 1個150円
「白滝じゃが」を使い、食用竹炭で真っ黒に仕上げている 白楊舎 MAP P3



ジオソフト 450円
ごまを使って黒曜石をイメージしたソフトクリーム 道の駅遠軽 森のオホーツク →P8

